



高原 明生 (TAKAHARA Akio)

東京大学大学院法学政治学研究科 教授
東京大学公共政策大学院 副院長

東京大学法学部卒業。
サセックス大学 英国開発問題研究所博士課程修了 (DPhil)。

笹川平和財団研究員、在香港日本国総領事館専門調査員、桜美林大学国際学部専任講師、桜美林大学国際学部助教授、立教大学法学部助教授、立教大学法学部教授を経て、2005 年から現職。笹川日中友好基金運営委員、東京財団上席研究員、日本国際問題研究所客員研究員、日本国際フォーラム上席研究員も兼務。

専門領域は、現代中国政治、東アジアの国際関係で、中国共産党、日中関係、東アジアの地域統合などを研究している。

主な著書に、『東大塾 社会人のための現代中国講義』(共編、東京大学出版会、2014)、『共同討議 日中関係なにが問題か』(共編、岩波書店、2014)、『中国近現代史シリーズ第 5 巻 開発主義の時代へ 1972-2014』(共著、岩波書店、2014)、『日中関係史』(共著、有斐閣、2013 年)、『「領土問題」の論じ方』(共著、岩波書店、2013)、『日中関係史 1972-2012 I 政治』(共編、東京大学出版会、2012)、『現代アジア研究 1 越境』(共編、慶應義塾大学出版会、2008)、『東アジア安全保障の新展開』(共編、明石書店、2005)、『毛沢東、鄧小平そして江沢民』(共著、東洋経済新報社、1999)、『「中国」の時代』(共著 三田出版会、1995)、『The Politics of Wage Policy in Post-Revolutionary China』(The Macmillan Press, 1992)、監訳書として『中日関係史 1978-2008』(歩平編集代表／高原明生監訳、東京大学出版会、2009) など、ほか論文多数。